

小児科に通院・入院されていた患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

僧帽弁閉鎖不全症における術前の predictive Wall Stress と術後左室機能との関連

[研究責任者名・所属] 武田 充人 北海道大学病院小児科・講師

[研究の目的] 先天性僧帽弁閉鎖不全症の患者さんの診療情報を登録し、データベースを構築するため。

先天性僧帽弁閉鎖不全症における predictive Wall Stress（術後の左心室にかかる予測壁応力）は小児において手術時期の決定に有用であることが報告されています。しかし predictive Wall Stress が術後遠隔期の左室機能予後予測に有用かどうかの検討は行われていません。本研究の目的は先天性僧帽弁閉鎖不全症における predictive Wall Stress の術後遠隔期も含めた左室機能予後予測能について検討することです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

先天性僧帽弁閉鎖不全症の患者さんで、2001年9月1日から2019年8月31日までの間に、当院で僧帽弁形成術または僧帽弁置換術の治療を受けた方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、心電図検査）

[研究実施期間]

実施許可日～2023年3月31日（症例登録期間：実施許可日～2022年4月1日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院小児科 担当医師 白石 真大

電話 011-706-5954 (小児科医局) FAX 011-706-7898